

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)

【公開番号】特開 2000-59810 (P2000-59810A)
 【公開日】平成 12 年 2 月 25 日 (2000.2.25)
 【出願番号】特願 平 11-185946
 【国際特許分類】

H 0 4 N 9/73 (2006.01)

H 0 4 N 5/59 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 9/73 E

H 0 4 N 5/59

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 カラー受像管 (1) または投写管のためのビデオ信号処理回路装置であって、

基準陰極電流を用いた前記カラー受像管 (1) の各管システムのカットオフ調整のためのデバイスを有し、前記基準陰極電流は、疑似ブラック信号値に相応し、各 R G B カラーチャンネルにおいてそれぞれ垂直帰線消去期間中にビデオ信号プロセッサによってカラー受像管 (1) または投写管の駆動信号へ挿入される測定パルスによって引き起こされ、カットオフ調整のために生成された調整電圧により各測定パルスのカットオフポイントが直流電圧オフセットを介してそのつど基準ビーム電流が生じるように調整される形式のものにおいて、

陰極 (K) において設定される最小疑似カットオフがアンダーシュートに至るのを防ぐ調整デバイス (10) が設けられており、

前記調整デバイス (10) は、カットオフ調整のために各 R G B カラーチャンネルにおいて生じるカットオフ調整電圧を測定する測定回路を有しており、該測定回路は有利には、各 R G B カラーチャンネルに割当てられる 3 つの測定トランジスタ (15 , 16 , 17) によって構成されており、前記トランジスタ (15 , 16 , 17) はエミッタフォロワとして接続され共通のエミッタ抵抗 (18) を有しており、

カラー受像管 (1) のウェーネル電極 (G1) に供給する調整電圧 (U R G1) を得るために、エミッタレジスタ (18) からピックアップされたカットオフ調整電圧が、不揮発性メモリ (12) 内に記憶されている基準値と比較されるように構成されていることを特徴とする回路装置。

【請求項 2】 装置の初期化モードに対して制御可能なスイッチ (13 , 14) が設けられており、前記初期化モードは工場出荷時にまたは修理の際に開始可能であり、前記初期化モードによって当該モード中に共通のエミッタ抵抗 (18) からピックアップされたカットオフ調整電圧が、読出し/書込みメモリ (12) の書込み入力側に供給可能であり、さらに調整デバイス (10) に対する基準値もしくは基準変量として記憶可能である、請求項 1 記載の回路装置。

【請求項 3】 前記測定回路は、部分的にまたは全体的にデジタル形式でプロセッサ内に設けられる、請求項 1 記載の回路装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

【課題を解決するための手段】

上記課題は本発明により、陰極において設定される最小疑似カットオフがアンダーシュートに至るのを防ぐ調整デバイスが設けられており、前記調整デバイスは、カットオフ調整のために各ＲＧＢカラーチャネルにおいて生じるカットオフ調整電圧を測定する測定回路を有しており、該測定回路は有利には、各ＲＧＢカラーチャネルに割当てられる３つの測定トランジスタによって構成されており、前記トランジスタはエミッタフォロワとして接続され共通のエミッタ抵抗を有しており、カラー受像管のウェーネル電極に供給する調整電圧を得るために、エミッタレジスタからピックアップされたカットオフ調整電圧が、不揮発性メモリ内に記憶されている基準値と比較される構成によって解決される。